



平成27年11月1日現在
 総世帯数 7,271世帯
 総人口 16,787人
 男 8,345人
 女 8,442人

芳川地区文化祭が

開催されました

11月7日・8日 学び・発表・交流の2日間

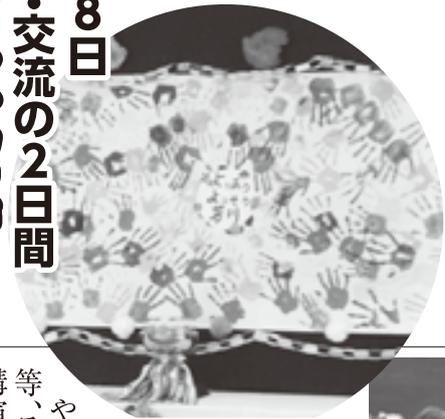


▲大賑わいのバザー



▲芳川小児童・筑摩野中生徒による合同合唱

▼みんなで作った手形の輪



▲楽しい人形劇

展示、体験コーナー、ステージ発表、ミニコンサート、劇団であい舎による劇団公演、芳川小学校5年生による「芳川華米(ほうせんかまい)」の販売など、今年も盛りだくさんの出し物でにぎわいました。



▲消防服の試着

体育館入口にはテーマ「よりあうよりそう芳川」にちなみ園児から小学生、町会長の方々の手形の輪の展示、また今年は消防団の方にも参加していただき、消防車の展示や消防用防火服の試着講演として芳川小学校4年1組による人形劇で、会場をおおいに盛り上げていただきました。



▲抽選会も開催されました。

第4回芳川地区総合防災訓練 筑摩野中・信明中の生徒が 地域防災の二員に

報告編

9月27日(日)震度7の地震を想定し、芳川地区総合防災訓練が防災の基本「自分の身は自分で守る」を念頭に真剣に取り組みました。

午前中は各町会での安否確認等の訓練、午後は芳川公園で全8町会・約600人が参加して、炊き出し訓練・倒壊家屋からケガ人を救出し担架で搬送救護訓練・消火栓による放水訓練・バケツリレーによる消火訓練等8種類の実践的訓練や、はしご車の体験乗車も行われました。



最後に県消防防災ヘリ「アルプス」により空輸された救援物資を、昨年に引き続き参加した中学生約70名が、ヘリからの手渡しで仮想避難所に運ぶ運搬訓練を行い、今年も中学生が大活躍してくれました。



芳川ふれあい ウォーキング開催

10月24日(土)芳川ふれあいウォーキングが開催されました。スタート前、中学生を中心に準備体操を兼ねたレクリエーションを行い、参加者全員の親睦を深め、秋晴れのなか115人の参加者は自分の体力に合わせた三つのコースを歩きました。野溝・平田コースではお寺、神社、庭園を巡り、地元町会の代表者による歴史説明を聞き、勉強しながら楽しく歩いたウォーキング大会でした。



第58回松本市 市民体育大会秋季大会

10月11日(日)第58回松本市市民体育大会秋季大会が開催され、地区対抗前人未到の総合優勝三連覇の期待がかかりましたが、前夜からの雨により野球、ゲートボールが中止。総合優勝が無くなってしまいました。皆さん見事な活躍でした。



結果●ソフトバレー40歳以上優勝●ソフトバレー39歳以下3位
●卓球Cブロック優勝●マレットゴルフ男・女とも19位
選手の皆さん一日お疲れ様でした。

長野県「地域発元気づくり支援金」を活用!!

木工町会自主防災会の今後の活動と、今後の活動計画が評価され、県の補助を受けることが決まりました。これは、地域の振興を目的とした制度で防災に関しての部に応募していました。これにより、災害時の緊急通信網構築のためのトランシーバー12台と、消火器と屋外に設置するための収納セット20基分、計約127万円を、申請して101万円(8割)の助成を受け購入しました。今後はこの器材を活用し、万の際の防災活動に役立てます。



みんなであそぼう! VS 芳川マツチ

10月12日体育の日、芳川体育館にて第二回「VS 芳川マツチ」が開催されました。開明小、才教学園小、芳川小の児童約120名が参加され、中学生スタッフのサポートの下、4チームに分かれてゲームを楽しみました。大縄跳びは10分間に何回跳べるかを競いましたが、大変難しく、成功するたびに大きな歓声と拍手が上がっていました。最後にビンゴゲームを楽しみ、盛況のうちに散会となりました。芳川地区の児童の皆さんの絆が深まったと思います。



芳川の今昔物語

旧常福寺跡

その昔... 松本環状高家線の芳川跨線橋の北側に、篠ノ井線を挟んで大字村井町と小屋に小字寺家地籍がある。「信府統記」には醫王山常福寺を、當寺は開基分明ナラス往古、大寺ニテ二坊アリシトナリ、奮跡ハ今畑トナレリ」とあり、江戸時代の中期にはすでに畑だった。武田勢が火を放って焼失した常福寺跡だと、地元江戸末期には小屋の太子堂に移築されたが、廃仏毀釈で破壊されてしまった。



現在... 村井北公園の西の線路脇に五輪塔の看板と石碑がひっそりとたたずんでいる。ガードレールの陰に隠れて見えにくい。左の五輪塔は中世のものとして記載されているが、芳川地区の文化財としては古いものだから、公園内への移設が望ましい。

たちばなし

某役員のおB会での事。「もう膝が痛くてねえ」「おれも眼がいかねえ」「わたし聞いた事、かたつばしから忘れちゃうのよね」と頷いていると、食事がすすむにつれて話の流れがちがってきた。「TTPPがさ」「今、学校の先生忙がしすぎ」「東京まで絵を観に行ってきたの」「この事だけは絶対に譲れないな」政治、経済、芸術、はては座右の銘まで。みんな少しも変つてはいなかった。十年前、それぞれが心の奥に持っていた考え方や気持の芯に、日々の経験、喜び、悲しみなどが年をとるたびにぎゅっしりつまつてきて、大きなかたまりになっているにちがいない。表面はおだやかで、自分の事より人の立場になれるやさしい人ばかりだ。(うーん、みんな外柔内剛タイプなんだ...年をとるといいな。少しはみんなを見なわなくっちゃ)人あたりが悪く、内面も実にいいかげんな自分を反省する。でも、良い仲間を持つていてという満ち足りた気分が帰途についた。